

第38回交通工学研究発表会 第1日目【2018年8月7日(火)】プログラム

発表10分、質疑12分 ○は発表者

《第1会場(4階141教室)》

《第2会場(4階142教室)》

《第3会場(4階143教室)》

《第4会場(4階144教室)》

1. 交通安全(1) 座長: 森本章倫(早稲田大学) 副座長: 田中義宗(警視庁)		5. 交通流 座長: 大口敬(東京大学) 副座長: 邢健(株高速道路総合技術研究所)		9. 道路構造・維持管理 座長: 瀬戸下伸介(国土技術政策総合研究所) 副座長: 梶田佳孝(東海大学)		13. 交通行動分析・交通需要(1) 座長: 中村文彦(横浜国立大学) 副座長: 吉岡正人(中央復建コンサルタンツ株)			
10:00	1 訪日外国人によるレンタカー利用時のヒヤハット体験に関する研究	○猪井 博登 森川 美紅 葉 健人 土井 健司	富山大学 大阪府 大阪大学 大阪大学	30 観測調査に基づいた自動運転車の挙動特性と交差点での交通流へ与える影響の分析	○香山 裕紀 鈴木 弘司	名古屋工業大学 名古屋工業大学	88 交通サービス条件及び個人・世帯属性に着目した交通行動特性—東京都圏におけるWEBアンケート調査より— (実務論文)	○石井 良治 毛利 雄一 青野 貞康	(一財)計量計画研究所 (一財)計量計画研究所 東京大学
10:23	2 交通違反・危険運転に対する許容度の国際比較	○鈴木 一史 中村 英樹	群馬工業高等専門学校 名古屋大学	31 首都高速道路サグ部における自動運転普及後の交通流	○中村 司 川嶋 弘尚 鎌田 謙治 山田 康右 大島 大輔 今川 高嶺 小島 朋己	首都高速道路株 慶應義塾大学 慶應義塾大学 パシフィックコンサルタンツ株 パシフィックコンサルタンツ株 パシフィックコンサルタンツ株 首都高速道路株	59 自動路面状態判別システムを活用したスマート凍結防止剤散布システムの開発 (実務論文)	○大廣 智則 高倉 清 桜庭 拓也 花塚 泰史 萩原 亨	株ネクスコ・エンジニアリング北海道 株ネクスコ・メンテナンス北海道 東日本高速道路株 株ブリヂストン 北海道大学
10:46	3 道路交通秩序維持活動の効果に関する基礎研究	○三村 泰広 安藤 良輔	(公財)豊田都市交通研究所 (公財)豊田都市交通研究所	32 ACC車両が混在する高密度交通流の挙動と運転者行動への影響	○飯田 克弘 ○浅田 真敏 多田 昌裕 筑後 智弘 西田 将之 安 時亨 澤田 英郎	大阪大学 大阪大学 近畿大学 中日本高速道路株 近畿大学 西日本高速道路エンジニアリング関西株 西日本高速道路エンジニアリング関西株	60 堆雪の形成による冬季交通流の変動と対策について (実務論文)	○宗広 一徳 村上 和也 中村 直久 佐藤 昌哉	土木研究所 寒地土木研究所 土木研究所 寒地土木研究所 土木研究所 寒地土木研究所 土木研究所 寒地土木研究所
11:09	4 中学生のためのミラーリング自転車安全教育プログラムの効果測定	○菊池 輝 小川 和久 只野 健一	東北工業大学 東北工業大学 中野建設コンサルタン株	33 首都圏高速道路網における渋滞の時間間隔分布の安定性	○酒井 高良 赤松 隆	東北大学 東北大学	61 自動車運転支援のための道路区画線の更新周期に関する研究	○安井 一彦 兵頭 知 小野 拓海 池田 隆博	日本大学 日本大学 千葉県 株ジュハ
11:43	5 ドライブレコーダー設置義務化の規制影響分析	○加藤 正康 鹿島 貴 小林 貴	中央大学 中央大学 交通安全環境研究所	34 微分制御項を取り入れた追従モデルの同定とサグ渋滞の再現精度の検証	○石丸 卓朗 赤羽 弘和	千葉工業大学 千葉工業大学	62 既設橋梁用ワイアロープ式防護柵の開発 (実務論文)	○平澤 匡介 佐藤 昌哉 村松 忠久 佐藤 義悟	土木研究所 寒地土木研究所 土木研究所 寒地土木研究所 株高速道路総合技術研究所 鋼製防護柵協会
12:06	6 ドライブレコーダーデータの分析結果を活用した危険事象の見極め方法の提案	○尾崎 悠太 川松 祐太 小林 寛	国土技術政策総合研究所 国土技術政策総合研究所 国土技術政策総合研究所	35 都市間高速道路におけるLED標識を用いた車線利用率準化渋滞対策の実証的研究 (実務論文)	後藤 誠 南 肇 ○外山 敬祐 松下 健介 石田 貴志	東日本高速道路株 東日本高速道路株 東日本高速道路株 株ネクスコ東日本エンジニアリング 株道路計画	63 リスク指標を用いたラウンドアバウト幾何構造の安全性評価	○吉岡 慶祐 中村 英樹 下川 澄雄 森田 紳之	日本大学 名古屋大学 日本大学 日本大学

13:30～ 《第1会場》に於いて、交通工学研究会が公益事業の一環として実施している自主研究活動のうち、平成29年度末に終了した2件の基幹研究「道路の交通容量とサービスの質に関する研究」(代表: 中村英樹 名古屋大学教授)、及び「災害発生時における交通課題研究」(代表: 元田良孝 岩手県立大学教授)の成果についてはプログラムの中で時間を設けて口頭報告します。さらに、当会で積極的に進めている官公庁、自治体、道路会社、民間企業、関連団体等との共同研究・受託研究について、これまでの事例や実施に際しての手順等についてご案内しますので、皆様奮ってご聴講ください。

14:10 14:00～ 交通工学研究会会長報告「JUSTEの今とこれから タスクフォース始動!」上記の研究活動の口頭報告に続いて、当会会長の赤羽弘和(千葉工業大学教授)より報告します。

2. 交通安全(2) 座長: 萩原亨(北海道大学) 副座長: 大榎謙(国土交通省道路局)		6. 歩行者交通 座長: 屋井鉄雄(東京工業大学) 副座長: 鈴木弘司(名古屋工業大学)		10. 公共交通 座長: 山中英生(徳島大学) 副座長: 吉田樹(福島大学)		14. 交通行動分析・交通需要(2) 座長: 奥村誠(東北大学) 副座長: 篠崎毅(パシフィックコンサルタンツ株)			
14:15	7 交通流状態と幾何構造を考慮した都市間高速道路の事故発生リスク分析	○坪田 隆宏 吉井 稔雄 那 健	愛媛大学 愛媛大学 株高速道路総合技術研究所	36 エスカレーター内の歩行に関する基礎研究 (実務論文)	○元田 良孝 手佐美 誠史	岩手県立大学 岩手県立大学	94 エージェントベースシミュレーションを用いた自動運転普及シナリオの評価	○上条 陽 トロンコ ヴァリディ ジナルカ 高見 淳史 原田 淳史	東京大学 東京大学 東京大学 東京大学
14:38	8 生活道路交差点部と単路部における事故リスクの算定	○吉井 稔雄 坪田 隆宏 倉内 慎也 白柳 洋俊	愛媛大学 愛媛大学 愛媛大学 愛媛大学	37 通学路内における児童の歩行特性の定量的把握と道路環境が与える影響に関する分析	○村松 尚人 杉木 直 松尾 幸二郎 水谷 晃啓	豊橋技術科学大学 豊橋技術科学大学 豊橋技術科学大学 豊橋技術科学大学	95 時間変動係数に基づく発時刻への時間変動別OD交通量逆推定手法の改良	藤田 素弘 中井 俊介 ○市村 康平	名古屋工業大学 名古屋高速道路公社 中日本高速道路株
15:01	9 高速道路における追い越し時の速度差 (実務論文)	○森 健二 矢野 伸裕 横関 俊也	科学警察研究所 科学警察研究所 科学警察研究所	38 観光地等における歩行特性に関する基礎的研究	○吉田 純士 中西 賢也 豊田 将嘉 岩崎 正久 渡辺 英俊 日向野 茂	国土技術政策総合研究所 国土技術政策総合研究所 (公社)日本交通計画協会交通計画研究所 株国際開発コンサルタンツ 株国際開発コンサルタンツ 株国際開発コンサルタンツ	66 愛媛県内の高校生の通学実態に関する調査報告 (実務論文)	○山口 晋弘 白石 悦二 陽康 暢彦 松村 暢彦	日本工営株 日本工営株 日本工営株 愛媛大学
15:24	10 高速道路の付加追越車線運用が下流の事故多発区間に与える影響の考察 (実務論文)	○早河 辰郎 川島 陽子 近田 博之	中日本高速道路株 中日本高速道路株 中日本ハイウェイエンジニアリング名古屋株	39 視覚障害者街歩き支援ナビゲーションの拡充とバーチャル散歩実験手法の検討	○松本 浩子 内田 敬 阪口 理紗	大阪市立大学 大阪市立大学 大阪ガス都市開発株	67 乗用タクシーによるコミュニティバス代替可能性の検討	○加藤 秀樹 福本 雅之	(公財)豊田都市交通研究所 (公財)豊田都市交通研究所

デモンストレーション & 自主研究活動報告<デモ有り>表示のある発表および自主研究活動のパネル展示を行います。 於)デモ会場(4階ギャラリー)

16:20	11 逆走経路のハターン分類にもとづく逆走要因の分析	○浜岡 秀勝 松原 亮太	秋田大学 本間組	40 An Analysis of Pedestrian and Vehicle Behavior on Unsignalized Mid-block Crosswalks	○Yu WU Xin ZHANG Hideki NAKAMURA	Nagoya University Nagoya University Nagoya University	68 バス情報標準フォーマット導入による中小バス事業者ダイヤ改定業務時間削減効果の試算	○平沢 隆之 坂井 康一 堀江 武 山口 徳人 大口 敬	東京大学 東京大学 元東京大学 東武ビジネスソリューション株 東京大学
16:43	12 安全運転自己診断結果を用いた料金所手前での不正転回ハターン分類	○飯田 克弘 井上 剛志 森泉 慎吾	大阪大学 西日本高速道路株 大阪大学	41 歩行者用信号青点滅の明滅周期の違いによる心理的影響 (実務論文)	○横関 俊也 森 健二 矢野 伸裕	科学警察研究所 科学警察研究所 科学警察研究所	69 路線バスにおける集団走行発生時の運行方法の有効性分析	○胡 敏兒 保田 義之 井口 弘昭 秋山 孝正	関西大学 関西大学 関西大学 関西大学
17:06	13 高速道路出口部における逆走への気づきやすさと空間構成要素の関係 (実務論文)	○永見 豊 鈴木 晴子 滝沢 正仁	拓殖大学 八王子桑志高校 拓殖大学	42 街路整備に向けたアトラッキングによる歩行空間評価手法の開発	○轟 直希 柳沢 吉保 滝澤 善史 西川 嘉雄 高山 純一	長野工業高等専門学校 長野工業高等専門学校 長野工業高等専門学校 長野工業高等専門学校 金沢大学	70 地下鉄における「安心」の構造と事業者施策が安心度合に及ぼす影響に関する研究	○瀨良 敦希 中村 文彦 有吉 亮 田中 伸治 三浦 詩乃	横浜国立大学 横浜国立大学 横浜国立大学 横浜国立大学 横浜国立大学
17:29	14 軽度認知障害患者による逆走判断時間および逆走通知の評価 (実務論文)	○永見 豊 二瓶 美里 長尾 朋紀 玉井 顕 中川 浩 塩田 祐也 松田 健介	拓殖大学 東京大学 東京大学 敦賀温泉病院 東日本高速道路株 東日本高速道路株 株ネクスコ東日本エンジニアリング	43 高齢歩行者の歩行活動と交通事故の関性に関する研究	○宮崎 萌 寺奥 淳 森本 章倫	株西武プロバティーズ 株建設技術研究所 早稲田大学	71 バス待ち行動分析に基づくバス停でのバス待ち抵抗緩和の要因に関する研究	○作田 莉子 有吉 亮 中村 文彦 田中 伸治 三浦 詩乃	横浜国立大学 横浜国立大学 横浜国立大学 横浜国立大学 横浜国立大学
17:52	15 視覚的逆走対策によるMOIを含む高齢者の逆走への気づきやすさのCG動画を用いた評価	○長尾 朋紀 二瓶 美里 鎌田 実 玉井 豊 永見 浩 塩田 裕也 松田 健介	東京大学 東京大学 東京大学 敦賀温泉病院 拓殖大学 東日本高速道路株 東日本高速道路株 株ネクスコ東日本エンジニアリング	44 東日本大震災被災地区におけるインタラクティブミュージックシステムの運用	○塚田 伸也 佐々木 真史 森田 哲夫 牛田 啓太 小松 正史	前橋市 立命館大学 前橋工科大学 工学院大学 京都精華大学	72 自転車と公共交通の一体的経路案内による公共交通の利用意向向上に関する研究	○及川 幸広 小嶋 文 間邊 哲也	元埼玉大学 埼玉大学 埼玉大学
18:15									
18:30	交通工学研究発表会 懇親会 於)日本大学理工学部駿河台キャンパス1号館2階 カフェテリア								

第38回交通工学研究発表会 第2日目【2018年8月8日(水)】プログラム

発表10分、質疑12分 ○は発表者

≪第1会場(4階141教室)≫

≪第2会場(4階142教室)≫

≪第3会場(4階143教室)≫

≪第4会場(4階144教室)≫

3. 生活道路 座長: 田久保 宣晃(科学警察研究所) 副座長: 小川 圭一(立命館大学)		
9:30	16 無信号交差点における簡易警報装置の一時停止喚起の効果 (実務論文)	○山崎 基浩 楊 甲 安藤 良輔 三谷 哲雄 野田 宏治 秦 謙 門田 茂 山口 朋之 浅井 靖治
9:53	17 歩車共存道路における道路路面構成と通行特性実態の関連調査	○大橋 幸子 小林 寛
10:16	18 対面通行生活道路における連続型狭さくの設置効果と効果持続性の実証的分析	○嶋田 喜昭 鈴木 一樹 山田 真未
10:50	19 ドライブ視点からみたカー舗装の維持管理のための劣化基準の検討	○吉城 秀治 辰巳 浩 堤 香代子 野中 淳平
11:13	20 生活道路内の子どもの歩行者に対するドライバーのストレス意識に関する考察	○海野 遥香 橋本 成仁
11:36	21 生活道路における自動運転導入による交通事故抑制確率の推計に関する研究	○広瀬 和保 寺奥 淳 船 真之 森本 章倫
11:59	22 ETC2.0プローブデータを用いた生活道路の交通事故分析に関する研究	○田中 秀人 寺奥 淳 佐野 薫 園部 一男 森本 章倫

7. 情報提供・運転支援 座長: 内田 敬(大阪市立大学) 副座長: 河本 一郎(阪神高速道路株)		
45	「吹雪の視界情報メール配信サービス」から見るユーザ情報ニーズの一考察 (実務論文)	○園分 徹哉 武知 洋太 大宮 哲 高橋 丞二 松澤 勝
46	熊本地震発生直後の自動車乗員による情報収集活動の分析 (実務論文)	○秋田 賢司 早川 敬一 高嶺 一男
47	経路検索履歴データを用いた事前検索時間の分析	○古川 ゆり 桑野 将司 秋元 美穂奈 菅原 一孔
48	先読み情報が停止挙動に与える影響～渋滞末尾情報と加減速情報の比較～	○齋藤 誠 松本 修一
49	情報提供による出口利用交通分散対策の評価 (実務論文)	○船本 真由 水谷 明嗣 高木 達也 渡部 数樹
50	速度規制標識が無い生活道路における助言型ISAの速度抑制効果検証	○楊 甲 三村 泰広 山崎 基浩 安藤 良輔 松尾 幸二郎 菅野 甲明

11. 交通データの応用 座長: 清水 哲夫(首都大学東京) 副座長: 井ノ口 弘昭(関西大学)		
73	プローブと間隔をかけた車両センサーデータの融合による交通状態把握 (実務論文)	○中川 浩 後藤 誠 松下 健介 土井 元治
74	衛星画像とプローブカー軌跡を用いたネットワーク交通状態推定のシミュレーション分析	○瀬尾 亨 日下部 貴彦
75	時刻非同期カメラを用いた画像センシングによる車両軌跡データ生成における課題の検討 (実務論文) <デモ有り>	○兒玉 崇 鈴木 英之 増本 裕幸 鈴木 健太郎 中西 雅一 田子 裕亮 田名部 淳
76	ETCデータプローブデータによる首都高速道路の起終点調査手法の検討 (実務論文)	○中川 浩志 伏屋 和晃 中村 毅一郎 島崎 雅博
77	ETC2.0データを活用したNeural Networkモデルによる所要時間提供情報の精度向上 (実務論文)	○永廣 悠介 西岡 悟史 岡本 博
78	ニューラルネットワークによる巨視的な渋滞状況の予測とその提供方法の検討	○清水 英聖 柴田 文和 杉田 正俊 福本 紗千
79	ETC2.0プローブ情報を用いたデータ可視化ツールによる地方公共団体の地域交通施策への活用検討 (実務論文)	○坂井 康一 佐々木 卓 木下 哲男 大口 敬 内藤 義之 秦 明生

15. 交通容量・サービス水準 座長: 小根山 裕之(首都大学東京) 副座長: 倉内 慎也(愛媛大学)		
103	道路の交通機能を考慮した大型車の乗用車換算係数に関する研究	○中林 悠 青山 悠理 下川 澄雄 吉岡 慶祐
104	道路の交通機能における潜在性能と顕在性能に関する一考察	○柿元 祐史 中村 英樹
105	渋滞先頭地点の遷移に関する分析 (実務論文)	○立松 和憲 米川 英雄
106	自動運転車両の混在が信号交差点交通容量に与える影響に関する分析	○髙野 潤 中村 美帆 井村 英樹 美帆
107	冬期路面状況による信号交差点の交通容量低下率に関する研究 (実務論文)	○伊藤 潤 大島 亮 佐野 可寸志 嶋山 紀一郎
108	都市間高速道路における交通性能の経年変化に関する研究	後藤 誠 ○石田 貴志 野中 康弘

4. 高齢ドライバー 座長: 久保田 尚(埼玉大学) 副座長: 森尾 淳(一財)計量計画研究所)		
13:30	23 高速道路における高齢ドライバーの運転行動分析	○山本 航 佐藤 久長 折野 好倫 糸島 史浩 櫻井 光昭
13:53	24 高齢者講習結果に基づくブレーキ反応に関する基礎的研究	○樋口 恵一 加藤 秀樹 山崎 基浩 向井 希宏 楊 甲
14:16	25 ドライブレコーダデータに基づく高齢ドライバーの急減速特性に関する基礎的考察	○福垣 具志 原田 憲武 柏 祐樹 竹平 誠治 小早川 悟
14:39	26 アイカメラを用いた高齢バス運転手の公道上運転行動解析	○大谷 真弘 多田 昌裕 日置 幸希 岡田 昌也

8. 運転者認知・挙動 座長: 中村 英樹(名古屋大学) 副座長: 川野 祥弘(首都高速道路株)		
51	走光型視線誘導システム設置区間に着目した渋滞流走行車両の挙動に関するDS実験	○柳原 正実 那 大也 鈴木 小根山 裕之
52	DS実験による走光型視線誘導システムの認識の違いと走行挙動の関係分析	○柳原 正実 神田 晴 小根山 裕之
53	減速マーク表示の配列とカーブの平面曲線半径との組み合わせが先頭車両の車速変化に及ぼす影響に関する屋外実験研究	○四辻 裕文 那 健 米村 圭一郎 甲斐 穂高 松本 秀秀 喜多 秀行
54	インターチェンジ合流部での効率的な渋滞事故対策の取組み (実務論文)	○澤田 英郎 鳥羽 駿介 大西 隆信 安藤 啓太

12. 都市交通計画 座長: 原田 昇(東京大学) 副座長: 猪井 博登(富山大学)		
80	津波避難におけるコントラフロー適用区間の一考察	○竹居 広樹 奥村 誠 瓜林 康太
81	アクセシビリティ指標を用いた災害時浸水域内からの要医療支援者搬送計画モデルの提案	○坂本 淳 小笠原 誠 石川 ひとみ
82	大規模地震時における道路閉塞要因を考慮した避難所への救援物資配送に関する研究	○長谷川 究 小早川 悟 後岡 寿成
83	商業地域における自転車の駐輪と放置実態を踏まえた配置のあり方	○小川 大貴 大沢 昌玄 中村 英夫

16. 自転車交通 座長: 小林 寛(国土技術政策総合研究所) 副座長: 嶋田 喜昭(大同大学)		
109	車道走行する自転車が自動車の走行挙動に及ぼす影響に関する研究	○水尻 翼 辰巳 浩 吉城 秀治 堤 香代子 向井 康裕
110	道路縁石の形状と機能に関する認知が自転車利用者の意識と走行挙動に及ぼす影響に関する分析	○宮内 弘太 高田 和幸 屋井 鉄雄
111	細街路における自転車走行指導帯整備による自転車左側通行の空間波及	○山中 英生 三国 成子 武田 一徹
112	自転車を考慮した信号制御の指針作成に向けた観測調査に基づく自転車のクリアランス時間の分析	○福山 大地 田中 伸治 中村 文彦 有吉 亮 三浦 詩乃

デモンストレーション & 自主研究活動報告<デモ有り>表示のある発表および自主研究活動のパネル展示を行います。 (於) デモ会場(4階ギャラリー)

15:30	27 一般ドライバーと高齢ドライバーのサグ部における速度低下抑制効果の比較	○佐藤 史弥 松本 修一 西元 崇
15:53	28 高齢者の交通安全と自動運転車の利用可能性に関する研究	○石村 映美 古明地 哲夫 森本 章倫
16:16	29 地域の交通環境が免許返納に与える影響の研究	青沼 直弥 ○佐々木 邦明

55	大深度地下高速道路のJCTにおける車両および運転者の挙動の把握	飯田 克弘 ○遠藤 貴裕 多田 昌裕 蓮花 一己 山本 隆 中村 文彦
56	テストコースにおけるプローブ道路灯の視認性に関する研究	○萩原 亨 浜岡 秀勝 江崎 俊介 江崎 克典 岡嶋 正自 小林 正自
57	車線単位に設置された交通信号灯が車両挙動に及ぼす影響 (実務論文)	○塚田 悟之

84	運用面からアプローチした大都市の観光バス駐車対策に関する研究—東京都台東区浅草地域のケーススタディー	○吉田 樹
85	中心業務地区における交通流と歩行者への影響を考慮した路上駐車管理方法に関する研究	○池谷 風馬 田中 伸治 中村 文彦 有吉 亮 三浦 詩乃
86	時間制限駐車区間での駐車行動に関する都市間比較	○堂柿 栄輔 梶田 佳孝 柴瀬 範彦
87	時間制限駐車区間に異なる運用方法が存在する場合の路上駐車実態の分析	○関 陽一 小早川 悟

113	走行自転車とすれ違う歩行者の危険感知に関する調査	田中 孝典 ○高野 陽平 植木 寛大 徳安 達士
114	地方自治体における自転車通行空間の整備形態の種類と選定基準の比較分析	○小川 圭一 伊藤 美早子 安 陸浩
115	利用者評価に基づいた外出困難者を対象とした2人乗り可能な自転車の潜在的利用機会と課題	○小西 琢也 吉田 長裕
116	都内の幹線道路における自転車交通量の時間変動特性 (実務論文)	○海老澤 綾一 椎名 啓雄